

# Canon

レーザービームプリンタ

# Satera

インテリジェントコントローラ NB-J1

## ネットワークガイド/スタート編



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

# 本書の構成について

**第 1 章** お使いになる前に

**第 2 章** インテリジェントコントローラの取り付け

**第 3 章** ネットワークで使用するには

**第 4 章** 付録

インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブルの解決方法やソフトウェアのバージョンアップ方法などを掲載しています。

- 
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
  - 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
  - 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 目次

---

はじめに .....	iv
本書の読みかた .....	iv
マークについて .....	iv
キー・ボタンについて .....	iv
画面について .....	v
略称について .....	v
規制について .....	vi
商標について .....	vi

## 第 1 章 お使いになる前に

---

必要なシステム環境 .....	1-2
印刷するときに必要なシステム環境 .....	1-2
ネットワークで使用するために必要な作業 .....	1-3

## 第 2 章 インテリジェントコントローラの取り付け

---

パッケージの内容を確認する .....	2-2
ケーブルを用意する .....	2-3
各部の名称と機能 .....	2-5
インテリジェントコントローラを取り付ける .....	2-6

## 第 3 章 ネットワークで使用するには

---

プリンタのプロトコル設定の準備 .....	3-2
プリンタの操作パネルによる設定 .....	3-3
プリンタのプロトコル設定 .....	3-6
リモート UI による設定 .....	3-6
印刷を行うコンピュータの設定 .....	3-21
プリントアプリケーションの選択 .....	3-21
LPD の特徴 .....	3-23
Raw の特徴 .....	3-24
IPP の特徴 .....	3-25
プリンタの接続方法 (LPD/Raw) .....	3-26

インテリジェントコントローラの取り外し .....	4-2
困ったときには .....	4-3
インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブル .....	4-3
テストプリント .....	4-5
インテリジェントコントローラを設定する .....	4-6
インテリジェントコントローラの初期化 .....	4-8
主な仕様 .....	4-11
ハードウェア仕様 .....	4-11
ソフトウェア仕様 .....	4-11
索引 .....	4-12
ソフトウェアのバージョンアップについて .....	4-13
情報の入手方法 .....	4-13
ソフトウェアの入手方法 .....	4-13

# はじめに

このたびは、キヤノン製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。インテリジェントコントローラ NB-J1 は、プリンタをネットワークに接続し、ネットワークプリンタとしてご使用いただくための製品です。

本書は、インテリジェントコントローラ NB-J1 をプリンタに取り付ける方法やプリンタをネットワークに接続する方法、ネットワーク環境で印刷するためのソフトウェアのインストールについて説明しています。本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、本書はお読みいただいた後も大切に保管してください。

## 本書の読みかた

### マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となることなどの説明に、下記のマークを付けています。

**⚠ 注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

**👉 重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

**📝 メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

### キー・ボタンについて

本書に記載されているキー・ボタンは、お使いの機種によって形状が異なる場合があります。本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

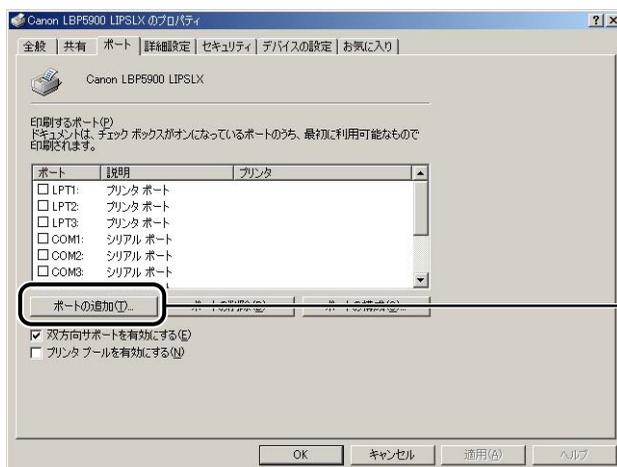
- 操作パネル上のキー：[キー名称]  
例：[オンライン]  
[ユーティリティ]
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]  
例：[OK]  
[設定]

## 画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、 (丸) で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

### 5 [ポートの追加] をクリックして、[プリンタポート] ダイアログボックスを表示します。



操作時に  
クリックするボタン

## 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 :	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 :	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 :	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system :	Windows
インテリジェントコントローラ NB-J1 :	インテリジェントコントローラ

インテリジェントコントローラ NB-J1 :

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 規制について

---

## 商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Netscape、Netscape Communicator、Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation 社の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

# 1

## CHAPTER

# お使いになる前に

この章では、対応しているネットワーク環境の確認やネットワークで使用するために必要な作業の概要など、お使いになる前に知っていただきたいことについて説明しています。

---

必要なシステム環境 .....	1-2
印刷するときに必要なシステム環境 .....	1-2
ネットワークで使用するために必要な作業 .....	1-3

# 必要なシステム環境

本製品が対応しているシステム環境について説明しています。

1

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

## 印刷するときに必要なシステム環境

ネットワーク環境で使用して印刷するときは、以下のシステム環境が必要です。

### ■ 対応している OS

- Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版

**👉 重要** Windows 2000 をお使いのときは、Service Pack4 をインストールしてください。

### ■ 対応しているプロトコル

- TCP/IP

### ■ 対応しているコンピュータ

- IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ

# ネットワークで使用するために必要な作業

ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

- 📝 **メモ** • PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 次の作業を行うと、印刷を行う各コンピュータが、直接ネットワークプリンタに印刷できるようになります。ネットワーク上にプリントサーバを設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、LIPS ソフトウェアガイド/本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章 Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。

## ■インテリジェントコントローラを取り付ける

インテリジェントコントローラを取り付け (→P.2-1)

## ■ネットワークの設定をする

### プロトコル設定の準備

\* ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように設定します。

プリンタの操作パネルによる  
プロトコル設定の準備 (→P.3-3)

ARP/PINGコマンドによる  
プロトコル設定の準備  
(→ネットワークガイド/本編)

### プリンタのプロトコルの設定

\* ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

プリンタのプロトコル設定を行います。

Webブラウザ（リモートUI）による  
プロトコル設定 (→P.3-6)

FTPクライアントによる  
プロトコル設定  
(→ネットワークガイド/本編)

### 印刷を行うコンピュータの設定

印刷を行うコンピュータの設定を行います。

プリントアプリケーションの選択 (→P.3-21)

## ■ プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

- プリンタの操作パネル (→ P.3-3)
- ARP/PING コマンド (→ネットワークガイド/本編)

## ■ プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。設定できる項目については、「ネットワークガイド/本編」(PDF 取扱説明書)を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。

- Web ブラウザ (リモート UI) (→ P.3-6)
- FTP クライアント (→ネットワークガイド/本編)

## ■ 印刷を行うコンピュータの設定 (→ P.3-21)

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。使用するプリントアプリケーションを選択し、必要な作業を行ってください。

 **重要** ネットワークで印刷するときは、以下のプリントアプリケーションが使用できます。

- ・LPD
- ・FTP
- ・Raw
- ・IPP
- ・BMLinkS

-  **メモ**
- プリントアプリケーションとは、ネットワークを通して送られたプリント出力データを受け取り、プリンタへ出力するソフトウェアです。ネットワーク上のプリンタに印刷するためには、プリントアプリケーションが必要となります。
  - RawまたはIPPをお使いになる場合は、プリンタに付属のCD-ROMに入っている、Canon LPR2 をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2 のインストールについては、ソフトウェアの CD-ROM に入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。
  - BMLinkS は、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合のみ使用できません。

# インテリジェントコントローラ の取り付け

# 2

## CHAPTER

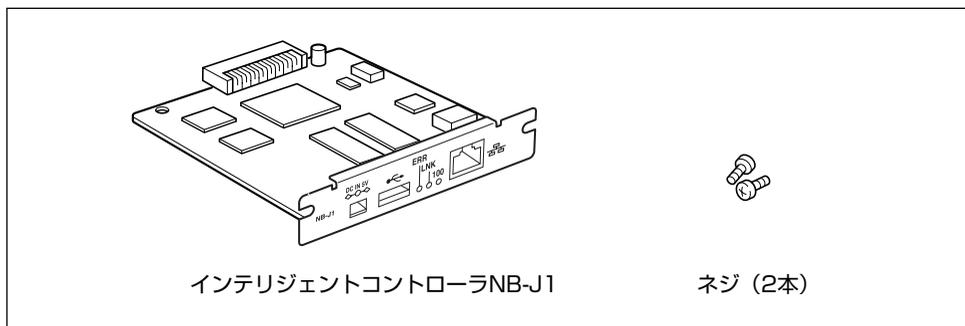
この章では、インテリジェントコントローラの各部の名称と機能や取り付けかたなどについて、説明しています。

---

パッケージの内容を確認する .....	2-2
ケーブルを用意する .....	2-3
各部の名称と機能 .....	2-5
インテリジェントコントローラを取り付ける .....	2-6

# パッケージの内容を確認する

インテリジェントコントローラを取り付ける前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあつた場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。



- ⚠ 注意**
- インテリジェントコントローラを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
  - インテリジェントコントローラの取り扱いには注意してください。インテリジェントコントローラの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

- 👉 重要**
- インテリジェントコントローラには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
- ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・インテリジェントコントローラの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、インテリジェントコントローラは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はインテリジェントコントローラを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。

- 📝 メモ**
- 本製品には、LAN ケーブルは付属していません。本製品を装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意ください。

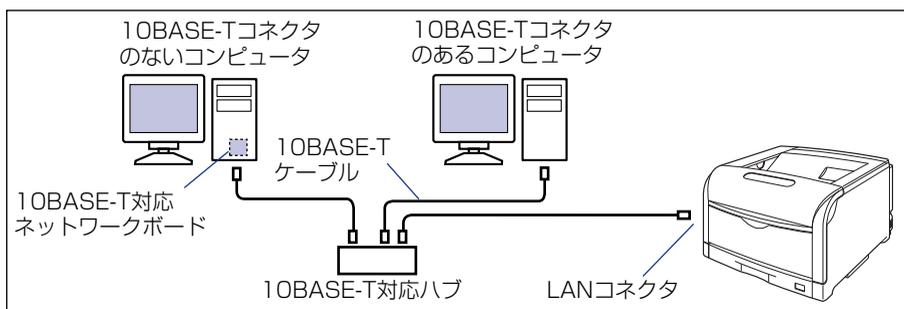
# ケーブルを用意する

本製品をプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、接続するネットワークの種類に応じて次のようなケーブルが必要です。あらかじめこれらのケーブルを準備してから作業を行ってください。

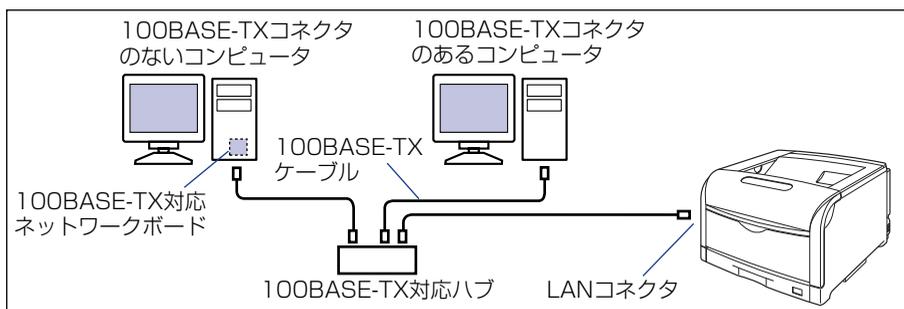
## ■ ネットワークの環境について

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

### ● 10BASE-T Ethernet ネットワークの接続例



### ● 100BASE-TX Ethernet ネットワークの接続例



## ■ 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合

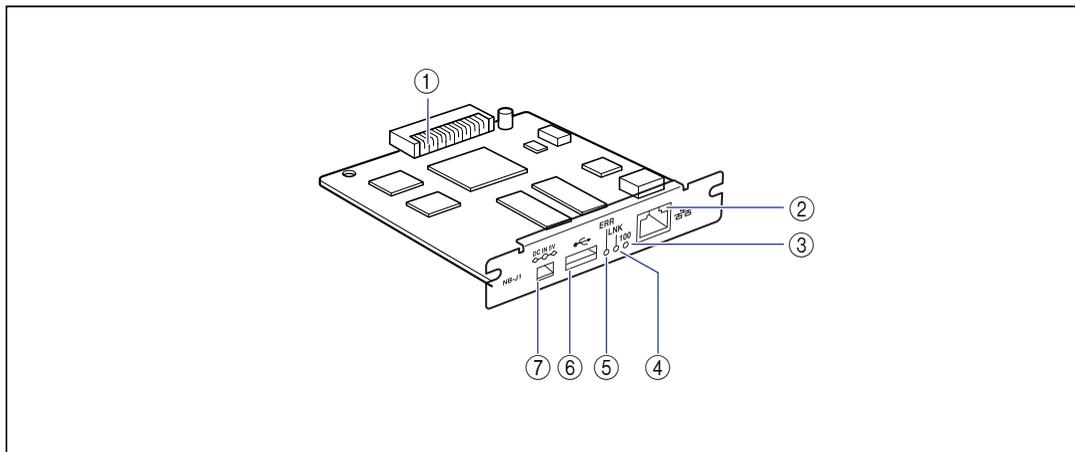
UTP カテゴリ 3、4、5 ケーブル (両端に RJ45 コネクタが付いたシールドなしより対線)、または STP カテゴリ 3、4、5 ケーブル (両端に RJ45 コネクタが付いたシールドありより対線) が必要です。

## ■ 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

UTP カテゴリ 5 ケーブル (両端に RJ45 コネクタが付いたシールドなしより対線)、または STP カテゴリ 5 ケーブル (両端に RJ45 コネクタが付いたシールドありより対線) が必要です。

-  **重要** • 本製品は、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。
-  **メモ** 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」へお問い合わせください。

# 各部の名称と機能



## ① プリンタ接続コネクタ

プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

## ② LAN コネクタ

10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブル接続部です。

## ③ 100 ランプ (緑色)

インテリジェントコントローラが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

## ④ LNK ランプ (緑色)

インテリジェントコントローラがネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

## ⑤ ERR ランプ (オレンジ色)

インテリジェントコントローラが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

## ⑥ USB ホストコネクタ

USB 機器と接続するときのUSBケーブル接続部です。本コネクタから最大 150mA の電流を供給することが可能です。オプションの AC アダプタを使用した場合は、最大 500mA の電流を供給することができますようになります。

## ⑦ DC ジャック

オプションの AC アダプタを接続するときの DC プラグ接続部です。接続する USB 機器の消費電流が 150mA 以上の場合、オプションの AC アダプタを使用して USB 機器をお使いください。

# インテリジェントコントローラを取り付ける

インテリジェントコントローラは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。インテリジェントコントローラの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

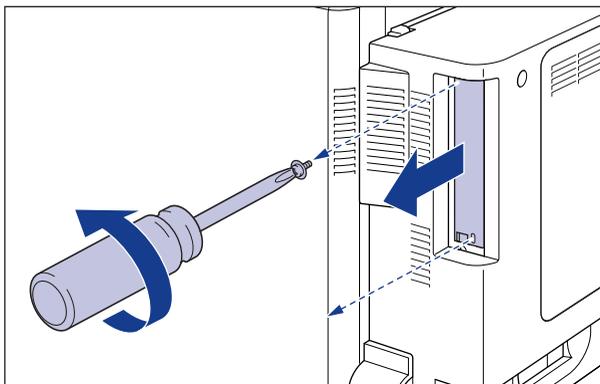
**重要** 手順中の図がお手持ちの製品と異なる場合があります。取り付け手順の詳細については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

## 1 プリンタの電源をオフにしたあと、プリンタの電源コード、アース線を取り外します。

**注意** • プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。  
• 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。(プリンタを破損したり、落下してけがををする恐れがあります。)

**重要** • プリンタケーブルが取り付けられているときは、プリンタケーブルも取り外します。  
• インテリジェントコントローラの抜き差しは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。電源をオンにしたままで基板を抜き差しすると、インテリジェントコントローラやプリンタを破損する恐れがあります。  
• 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。(→プリンタに付属の取扱説明書)  
• オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。(→プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書)

## 2 拡張ボードスロットのネジを外して、保護板を取り外します。

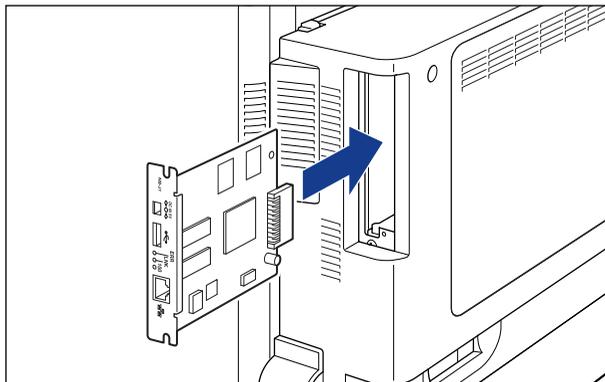




取り外した保護版とネジは、インテリジェントコントローラを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

### 3 インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

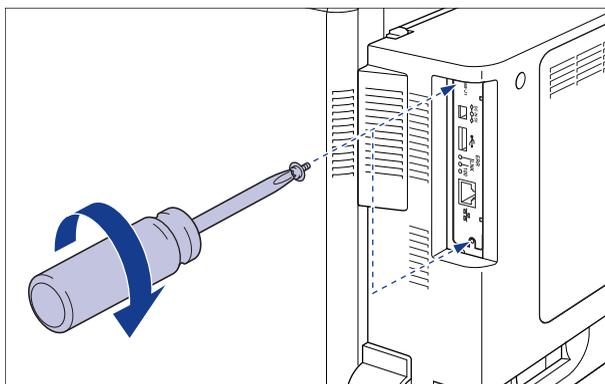
インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、基板を拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。



- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

### 4 インテリジェントコントローラをネジで固定します。

インテリジェントコントローラの両端を、付属の2本のネジで固定します。

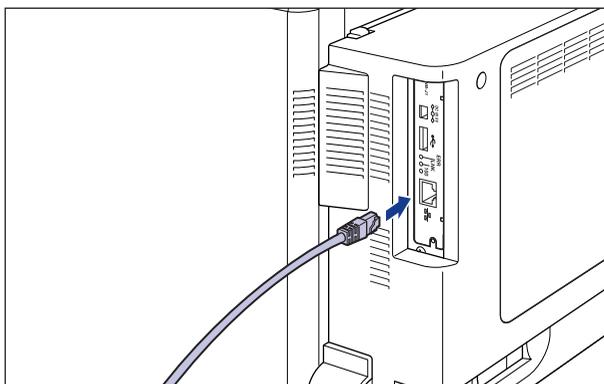


## 5 プリンタを移動したときは、元の位置へ戻します。

- ⚠ 注意**
- プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
  - 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。
- 🖐 重要**
- プリンタ本体は、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従って持ち上げ、元の位置へ戻してください。(→ プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、取り外したオプション品を元の位置へ戻してください。(→ プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書)

## 6 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを、10BASE-T/100BASE-TX 端子に接続します。



- ✂ モ**
- 本製品には、LAN ケーブルは付属していません。本製品を装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意ください。

## 7 プリンタの電源コード、アース線を接続します。

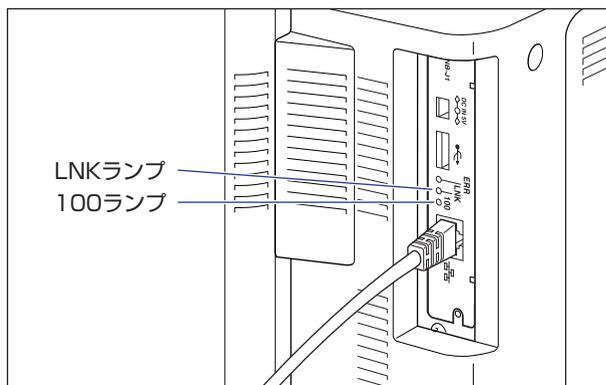
- 🖐 重要**
- プリンタの電源コード、アース線の接続方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

## 8 電源をオンにします。

## 9 インテリジェントコントローラのLNK ランプ (緑) が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。

100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。



正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、インテリジェントコントローラを取り付け状態を確認してください。確認したあと、電源をオンにしても正常に動作しない場合は、「困ったときには」(→ P.4-3) を参照してください。

---

インテリジェントコントローラを取り付けが完了しました。次に、ネットワークの設定を行ってください。(→ P.3-1)

---



# 3

## CHAPTER

# ネットワークで使用するには

この章では、ネットワークでプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

---

プリンタのプロトコル設定の準備.....	3-2
プリンタの操作パネルによる設定.....	3-3
プリンタのプロトコル設定.....	3-6
リモートUIによる設定.....	3-6
印刷を行うコンピュータの設定.....	3-21
プリントアプリケーションの選択.....	3-21
プリンタの接続方法 (LPD/Raw).....	3-26

# プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。ここでは、プリンタの操作パネルを使用してプロトコル設定の準備を行う方法について説明しています。

## ■ プリンタの操作パネルによるプロトコル設定の準備 (→ P.3-3)

プリンタのディスプレイの表示を見ながら操作パネルを使用して、プロトコル設定の準備を行います。

## ■ ARP/PING コマンドによるプロトコル設定の準備 (→ ネットワークガイド/本編)

コマンドプロンプトを使用して、プロトコル設定の準備を行います。

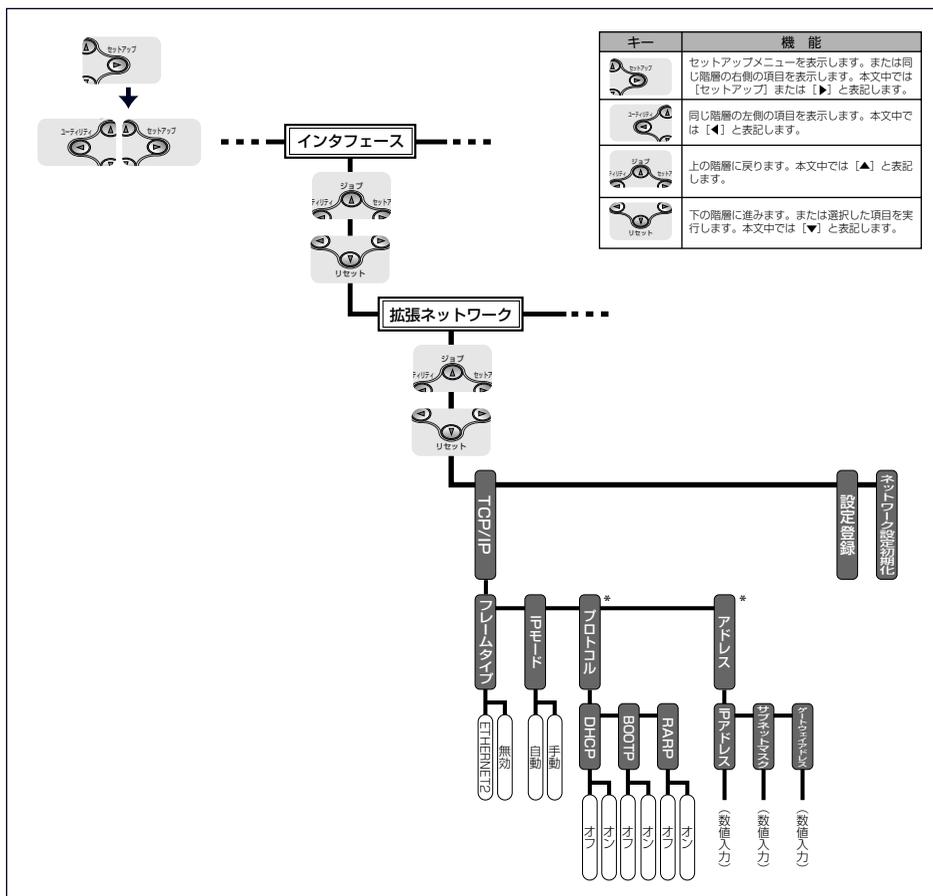
**重要** 作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

3

ネットワークで使用するには

## プリンタの操作パネルによる設定

プリンタの操作パネルを使用してプロトコル設定の準備を行う場合は、次のようなメニューの階層を使用します。



\* 「プロトコル」は「IPモード」が「ジドウ」に設定されたとき表示されます。「アドレス」は「IPモード」が「シュドウ」に設定されたとき表示されます。

- 重要**
- 設定を行ったあとは、必ず【設定登録】で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりません。
  - メニューの階層に戻る場合は、【▲】を押してください。
  - 操作パネルの設定手順の詳細については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書) 巻末のメニュールートマップを参照してください。

- 1 プリンタの操作パネルで [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。
- 2 [セットアップ] を押して、[◀]、[▶] で「インタフェース」を選択したあと、[▼] を押します。
- 3 [◀]、[▶] で「カクチョウ ネットワーク」を選択したあと、[▼] を押します。
- 4 [◀]、[▶] で「TCP/IP」を選択したあと、[▼] を押します。
- 5 [◀]、[▶] で「フレームタイプ」を選択したあと、[▼] を押します。
- 6 [◀]、[▶] で「ETHERNET 2」を選択したあと、[▼] を押します。
- 7 IP アドレスの設定方法を選択します。
  - [◀]、[▶] で「IP モード」を選択したあと、[▼] を押します。
  - DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、[◀]、[▶] で「ジドウ」を選択したあと、[▼] を押します。  
プリンタに直接 IP アドレスを割り当てる場合は、[◀]、[▶] で「シュドウ」を選択したあと、[▼] を押します。
- 8 プリンタの IP アドレスを設定します。
  - 手順 7 で「ジドウ」を選択した場合
    - [◀]、[▶] で「プロトコル」を選択したあと、[▼] を押して、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」をそれぞれ「オン」（使用する）か「オフ」（使用しない）に設定します。
    - [▲] を 2 回押します。
  - ☎ **メモ**
    - DHCP、RARP、BOOTP が使用可能かどうかのチェックは 1～2 分程度かかりますので、使用しない場合は「オフ」にすることをおすすめします。
    - DHCP、RARP、BOOTP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、RARP デモン、BOOTP デモンが起動されている必要があります。

- DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、常に本製品と同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめします。(IP アドレスが同じでないと、本製品のホスト名と IP アドレスを対応させることができません。)

### ● 手順 7 で「シュドウ」を選択した場合

- [◀]、[▶] で「アドレス」を選択したあと、[▼] を押して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。
- [▲] を 3 回押します。

 **メモ** 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の設定方法については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書)の標準ネットワークに関する項目を参照してください。

**9** [◀]、[▶] で「セッテイ トウロク」を選択したあと、[▼] を押します。  
操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されます。

**10** [▼] を押します。

---

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

---

# プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。設定できる項目については、「ネットワークガイド／本編」(PDF 取扱説明書)を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ (リモート UI) を使用してプロトコル設定を行う方法について説明しています。

## 3

ネットワークで使用するには

### ■ Web ブラウザ (リモート UI) による設定 (→ P.3-6)

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

### ■ FTP クライアントによる設定 (→ネットワークガイド／本編)

コマンドプロンプトを使用して、インテリジェントコントローラの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

## リモート UI による設定

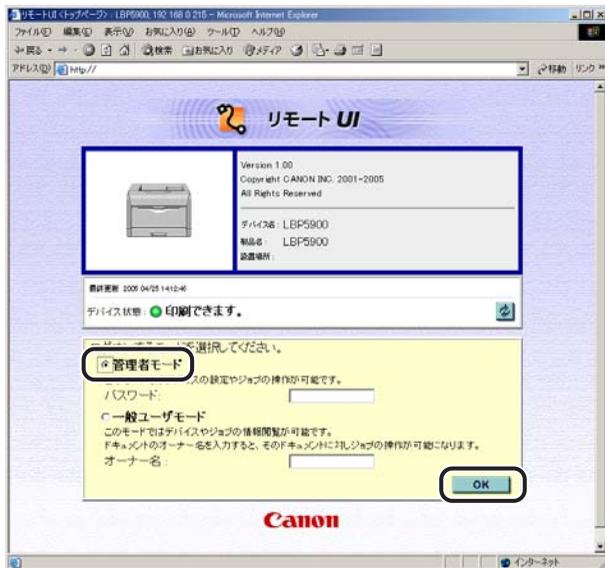
### 1 Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例 : http://192.168.0.215/

- 重要** ● Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。(設定はネットワーク環境によって異なります)
  - ・ Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外] (プロキシを使用しないアドレス) に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー (Cookie) が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

## 2 [管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。



**メモ** プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

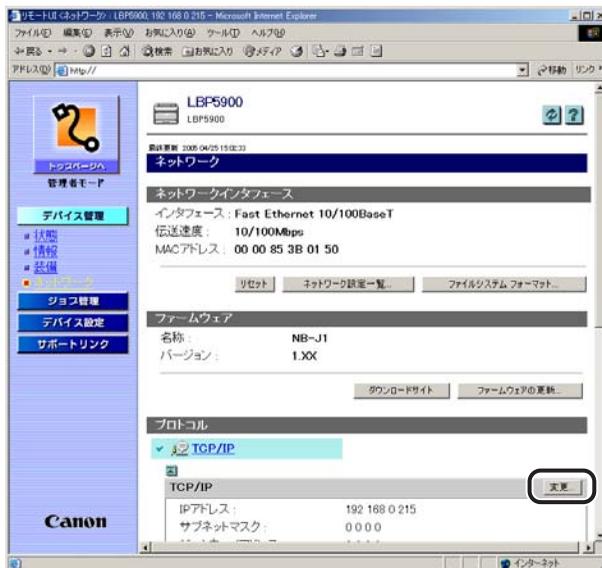
## 3 左側の [デバイス管理] のメニューから、[ネットワーク] をクリックします。



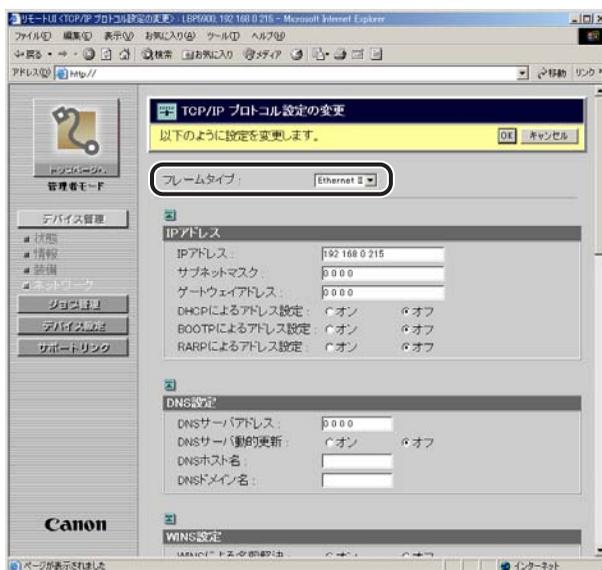
3

ネットワークで使用するには

#### 4 [TCP/IP] の右にある [変更] をクリックします。



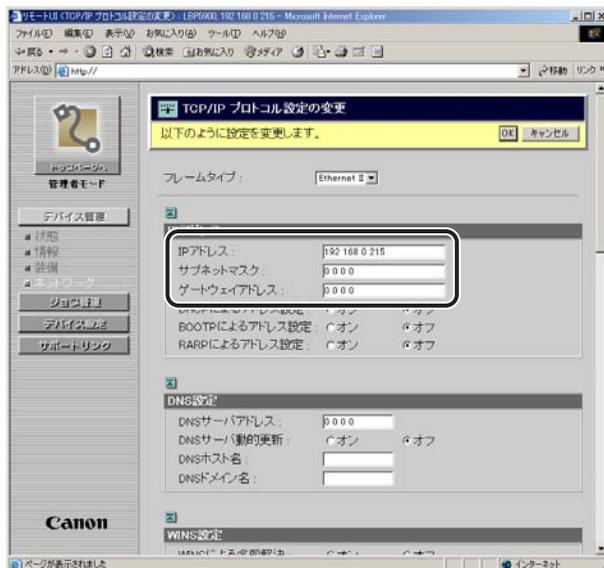
#### 5 [フレームタイプ] で [Ethernet II] を選択します。



-  **メモ**
- [無効] を選択すると、TCP/IP ネットワーク上でインテリジェントコントローラが認識されなくなります。
  - [無効] にしたプリンタを使用するには、「プリンタのプロトコル設定の準備」(→ P.3-2)を参照してください。

## 6 [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定します。

[IPアドレス] には、プリンタの IP アドレスを指定します。[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。



-  **メモ**
- DHCP、BOOTP、RARPのいずれかをお使いの場合でも、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARP のサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
  - DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定を行った場合、本製品の再起動後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARP で取得できた項目については上書きされません）。

3

ネットワークで使用するには

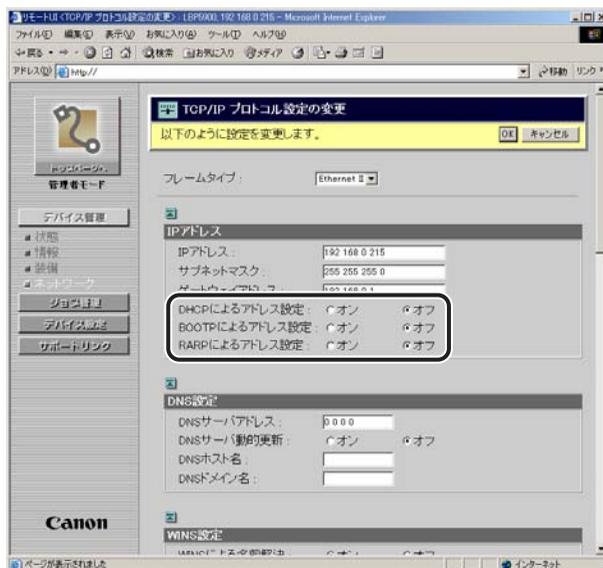
## 7 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。[DHCPによるアドレス設定]、[BOOTPによるアドレス設定]、[RARPによるアドレス設定]のうち、IPアドレスの設定に使用する項目を[オン]にします。

本製品は、プリンタに直接IPアドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用してIPアドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARPが使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法でIPアドレスを割り当てます。[DHCPによるアドレス設定]、[BOOTPによるアドレス設定]、[RARPによるアドレス設定]を[オフ]にしたときは、その項目のチェックは行われません。

これらがいずれも使用できないときは、[IPアドレス]に設定されているIPアドレスを割り当てます。

3

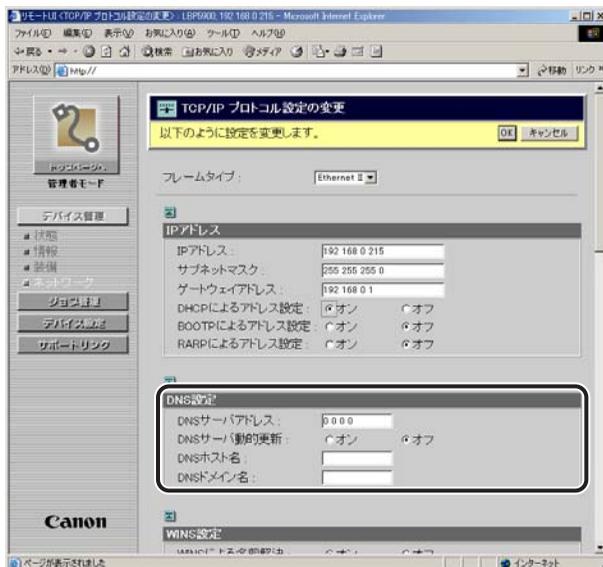
ネットワークで使用するには



-  **メモ**
- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは1～2分程度かかりますので、使用しない項目を[オフ]にすることをおすすめします。
  - DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。
  - DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、常に本製品と同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめします。(IP アドレスが同じでないと、本製品のホスト名と IP アドレスを対応させることができません。)

## 8 DNS サーバ、DNS の動的更新機能を使用する場合は、DNS を設定します。

これらを使用しない場合は、手順 9 に進みます。



- [DNS サーバアドレス] に、DNS サーバの IP アドレスを入力します。
- DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合は、[DNS サーバ動的更新] を [オン] に設定します。

動的更新機能を使用しない場合は、[オフ] に設定します。

### 重要

- DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、ダイナミック DNS サーバがある環境で使用することができます。
- DNS の動的更新機能を使用するには、DNS サーバの IP アドレスと本製品のホスト名・ドメイン名の設定が必要です。
- この機能を使用して、LPR で [DNS ホスト名] と [DNS ドメイン名] を指定することで、本プリンタの IP アドレスを固定しなくても使用できるようになります。

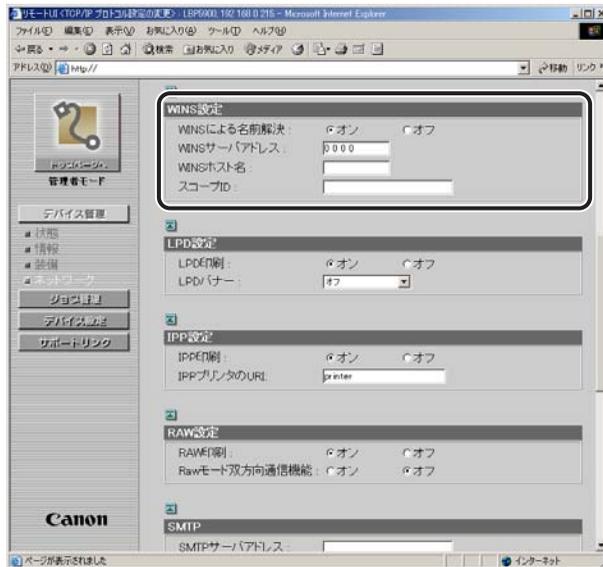
- [DNS ホスト名] に、DNS サーバに登録する本製品のホスト名を設定します。
- [DNS ドメイン名] に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例 : sales\_dept.xyz\_company.co.jp

### メモ

- 本製品では、DNS は以下の場合に使用されます。
  - ・ DNS の動的更新機能を利用するとき ([DNS サーバ動的更新] を [オン] に設定したとき)
  - ・ SMTP サーバ名の名前解決を使用するとき (手順 13 で SMTP サーバを名前指定したとき)

## 9 WINS の設定を行います。



### ● WINS による名前解決を使用する場合

- [WINS による名前解決] を [オン] に設定します。
- [WINS サーバアドレス] に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。
- [WINS ホスト名] に、WINS サーバに登録するホスト名を入力します。
- [スコープ ID] に、WINS サーバから検索したい NetBIOS 名のスコープ ID を入力します。

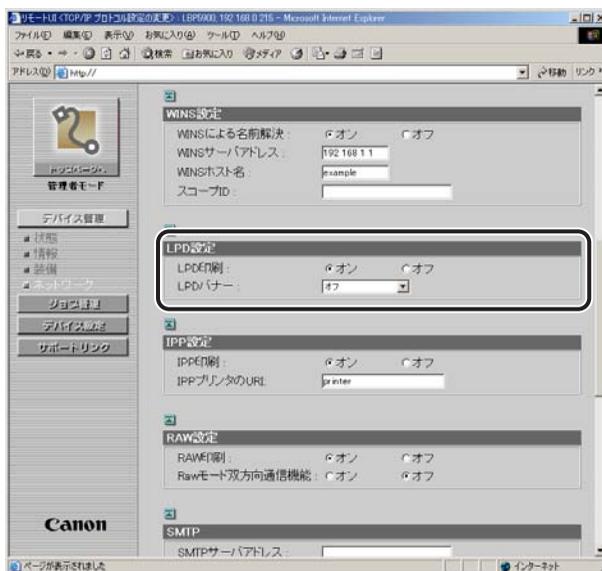
文字列をドットで区切って入力することで、絞込検索が行えます。

### ● WINS による名前解決を使用しない場合

- [WINS による名前解決] を [オフ] に設定します。

## 10 LPD を設定します。

### ● プリントアプリケーションとして LPD を使用する場合



- [LPD 印刷] を [オン] に設定します。
- [LPD バナー] で、バナーページ (各プリントジョブの区切りページ) の出力方法を選択します。

選択する項目

- 自動： バナーページを出力するように設定されているプリントジョブのときは、バナーページを出力します。設定されていないプリントジョブのときは、バナーページを出力しません。
- オン (最後に挿入)： プリントジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバナーページを出力します。バナーページは、最後のページに出力されます。
- オフ： プリントジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバナーページを出力しません。

### ● プリントアプリケーションとして LPD を使用しない場合

- [LPD 印刷] を [オフ] に設定します。

 **メモ** お使いの OS や LPR によっては、バナーページの出力を設定できないことがあります。このようなときに、[自動] 以外に設定することで、バナーページの出力を設定することができます。

## 11 IPP を設定します。



### ● プリントアプリケーションとして IPP を使用する場合

- [IPP 印刷] を [オン] に設定します。
- [IPP プリンタの URI] を指定します。

 **メモ** 通常は、変更する必要はありません。

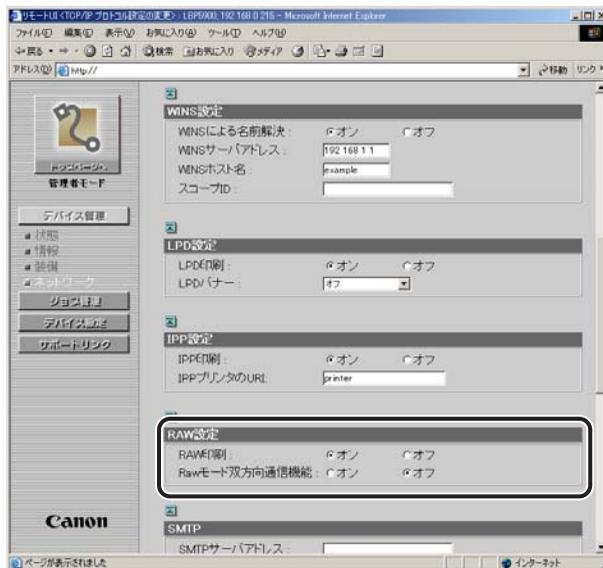
### ● プリントアプリケーションとして IPP を使用しない場合

- [IPP 印刷] を [オフ] に設定します。

3

ネットワークで使用するには

## 12 Raw を設定します。



### ● プリントアプリケーションとして Raw を使用する場合

- [RAW 印刷] を [オン] に設定します。
- 双方向通信を行うときは、[Raw モード双方向通信機能] を [オン] に設定します。

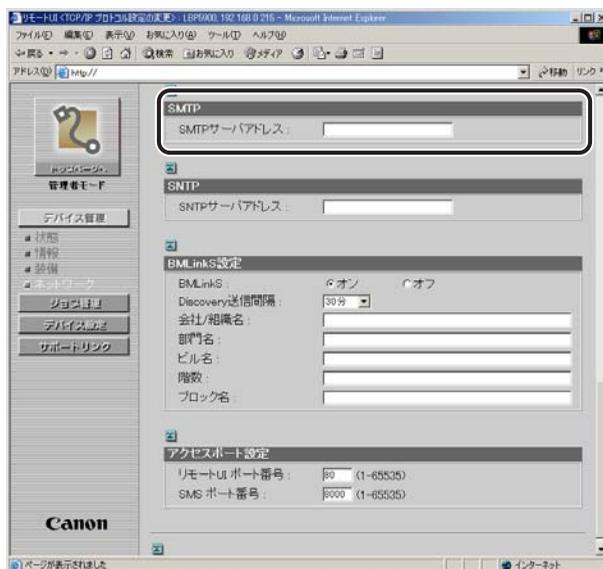
双方向通信を行わないときには、[オフ] に設定します。

 **メモ** 通常は、変更する必要はありません。

### ● プリントアプリケーションとして Raw を使用しない場合

- [RAW 印刷] を [オフ] に設定します。

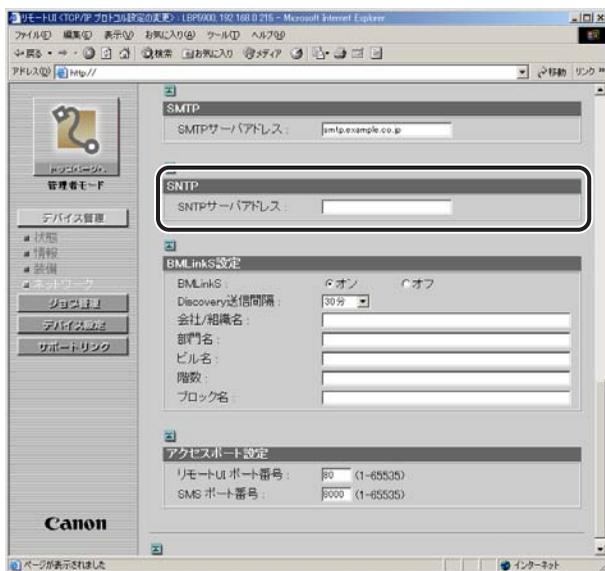
## 13 紙づまりが起きた場合などに、プリンタ状況を電子メールで送信する機能を利用するときは、SMTP を設定します。



- 手順 8 で DNS を設定したとき
  - [SMTPサーバアドレス] に、メールサーバのサーバ名を入力します。  
入力例：mail\_server.sales\_dept.xyz\_company.co.jp
- 手順 8 で DNS を設定していないとき
  - [SMTPサーバアドレス] に、メールサーバの IP アドレスを入力します。
  - [DNSドメイン名] に、SMTPサーバに送るメールの送信元ドメイン名を入力します。  
入力例：sales\_dept.xyz\_company.co.jp

 **メモ** この機能を利用するときは、さらに詳細な設定を行う必要があります。詳しくは、ネットワークガイド/本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章 ネットワークで使用するには」を参照してください。

## 14 時刻情報を得るために SNMP クライアント機能を利用するには、SNMP を設定します。



- 手順 8 で DNS を設定したとき
  - [SNMP サーバアドレス] に、SNMP サーバのサーバ名を入力します。
- 手順 8 で DNS を設定していないとき
  - [SNMP サーバアドレス] に、SNMP サーバの IP アドレスを入力します。

## 15 BMLinkS を設定します。



3

ネットワークで使用するには

- **メモ** • BMLinkS は、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合にのみ使用できます。
- プリンタがTIFFプリント機能をサポートしていない場合は、リモートUIからBMLinkSを設定することはできません。

### ● BMLinkS を使用する場合

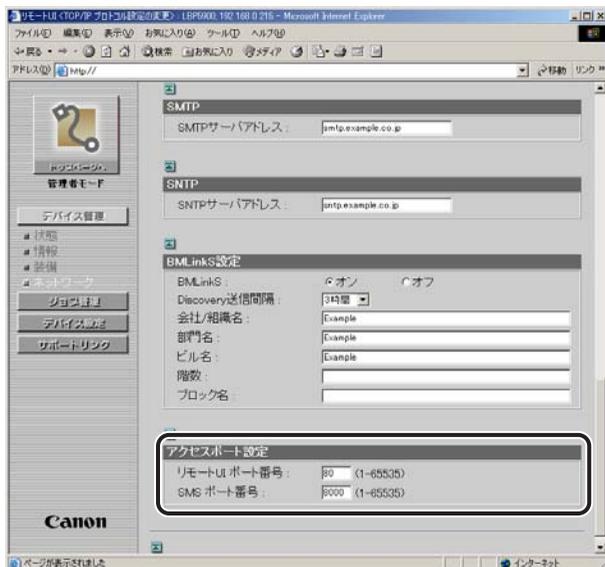
- [BMLinkS] を [オン] に設定します。
- [Discovery 送信間隔] で、プリンタの機器情報をネットワークに送信する間隔を設定します。  
30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。
- 必要に応じて、[会社 / 組織名]、[部門名]、[ビル名]、[階数]、[ブロック名] を設定します。

### ● BMLinkS を使用しない場合

- [BMLinkS] を [オフ] に設定します。

## 16 アクセスポートを設定します。

リモート UI や SMS を起動するときに指定するポート番号は、本項目で設定した値を使用します。



- [リモート UI ポート番号] に、リモート UI に接続する場合のポート番号を設定します。
- [SMS ポート番号] に、SMS (Service Management Service) に接続する場合のポート番号を設定します。

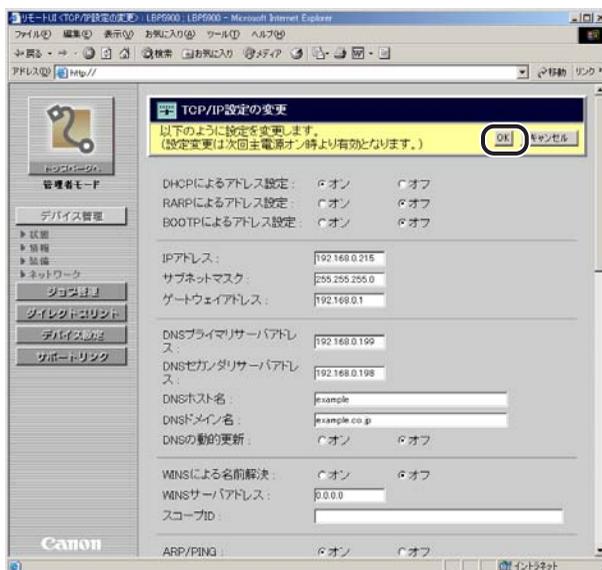
- メモ**
- Web ブラウザからリモート UI や SMS を起動する場合、URL に「http:// <プリンタの IP アドレス> /」と入力したとき、ポート番号は 80 (HTTP のデフォルトポート番号) を指定したものと見なします。本項目で [リモート UI ポート番号] と [SMS ポート番号] を「80」以外に設定した場合、Web ブラウザからリモート UI や SMS を起動するときに、ポート番号を指定することが必要となります。
  - 通常は、[リモート UI ポート番号] と [SMS ポート番号] を変更する必要はありません。
  - SMS については、「アプリケーション管理機能ガイド」(PDF 取扱説明書) を参照してください。

3

ネットワークで使用するには

## 17 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。



## 18 インテリジェントコントローラのリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

インテリジェントコントローラのリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

- ☎ **メモ** • インテリジェントコントローラをリセットするときは、左側の [デバイス管理] のメニューから [ネットワーク] をクリックしたあと、[リセット] ボタンをクリックします。
- インテリジェントコントローラのリセットによって、アプリケーションのデータやライセンスファイルなどが消去されることはありません。

---

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

---

# 印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

## ■ TCP/IP ネットワークに接続する

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアをインストールして、TCP/IP ネットワークが使用できるようにします。詳しくは、OS の説明書を参照してください。

## プリントアプリケーションの選択

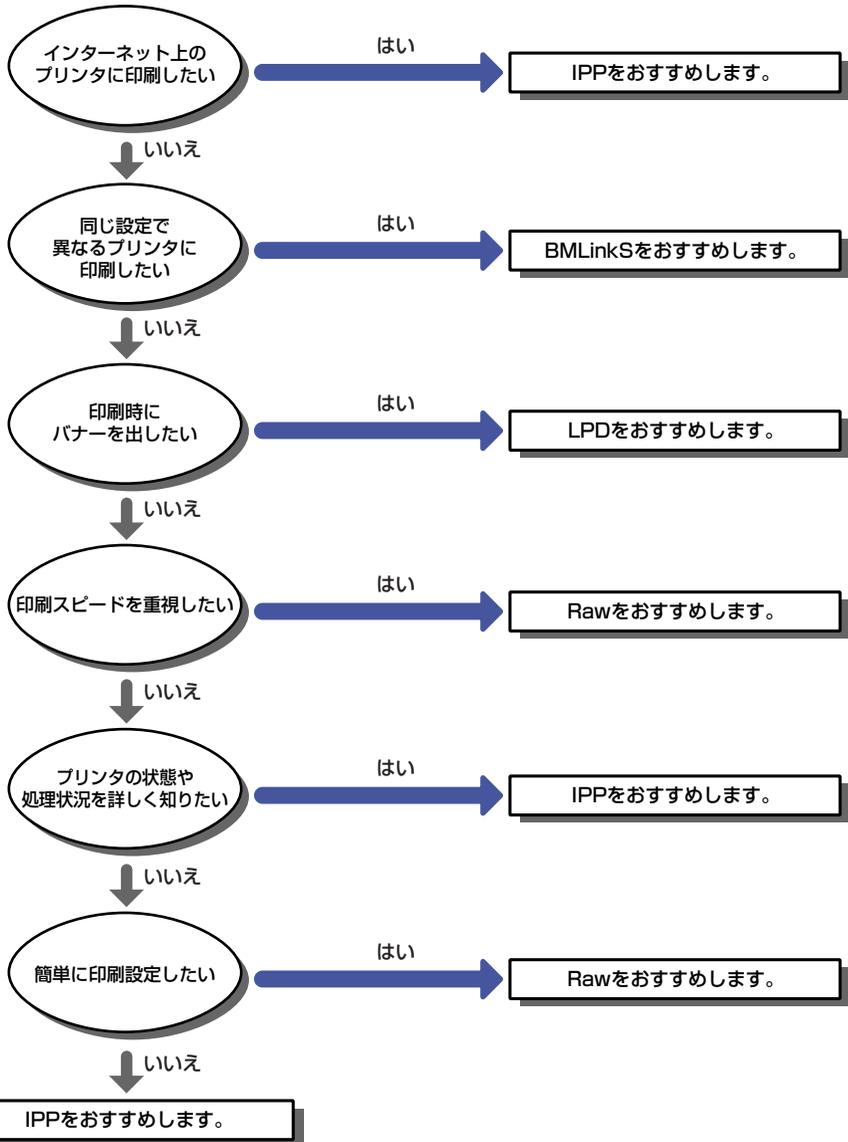
本プリンタをネットワークで使用する場合、以下のプリントアプリケーションに対応しています。

- LPD
- Raw
- IPP
- FTP
- BMLinkS

次の「プリントアプリケーション診断」を参考にして使用するプリントアプリケーションを決めて、必要な作業を行ってください。

-  **メモ**
- プリントアプリケーションとは、ネットワークを通して送られたプリント出力データを受け取り、プリンタへ出力するソフトウェアです。ネットワーク上のプリンタに印刷するためには、プリントアプリケーションが必要となります。
  - プリントアプリケーションによって、プリンタの接続先の設定が異なります。プリンタの接続先の設定は、プリンタドライバをインストールしたあとに行います。
  - BMLinkS は、プリンタが TIFF プリント機能をサポートしている場合にのみ使用できません。

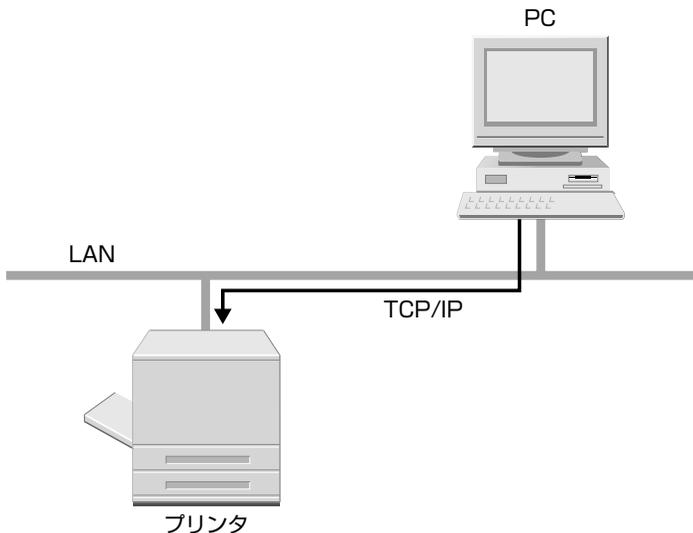
## ■ プリントアプリケーション診断



- LPD の特徴を詳しく理解するには「LPD の特徴」(→ P.3-23) を、設定を行うには「プリンタの接続方法 (LPD/Raw)」(→ P.3-26) を参照してください。
- Raw の特徴を詳しく理解するには「Raw の特徴」(→ P.3-24) を、設定を行うには「プリンタの接続方法 (LPD/Raw)」(→ P.3-26) を参照してください。
- IPP の特徴を詳しく理解するには「IPP の特徴」(→ P.3-25) を、設定を行うにはネットワークガイド/本編 (PDF 取扱説明書)「第 2 章 ネットワークで使用するには」を参照してください。
- BMLinkS の特徴や設定方法については、ユーザーズガイド (PDF 取扱説明書)「第 2 章 プリンタの使いかた」を参照してください。

- **メモ** ● FTP クライアントソフトウェアを使用して、印刷を行うこともできます。FTPクライアントソフトウェアを利用して印刷を行う方法は、ネットワークガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第2章 ネットワークで使用するには」を参照してください。
- RawまたはIPPをお使いになる場合は、プリンタに付属のCD-ROMに入っている、Canon LPR2 をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2 のインストールについては、ソフトウェアのCD-ROMに入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- 同じ設定で異なるプリンタに印刷するには、印刷するプリンタが BMLinkS 対応機器である必要があります。
- ネットワーク上にプリントサーバを設定することによって、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替プリンタドライバをインストールしておく、各コンピュータはプリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。これらの設定は、LIPS ソフトウェアガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第2章 Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。

## LPD の特徴

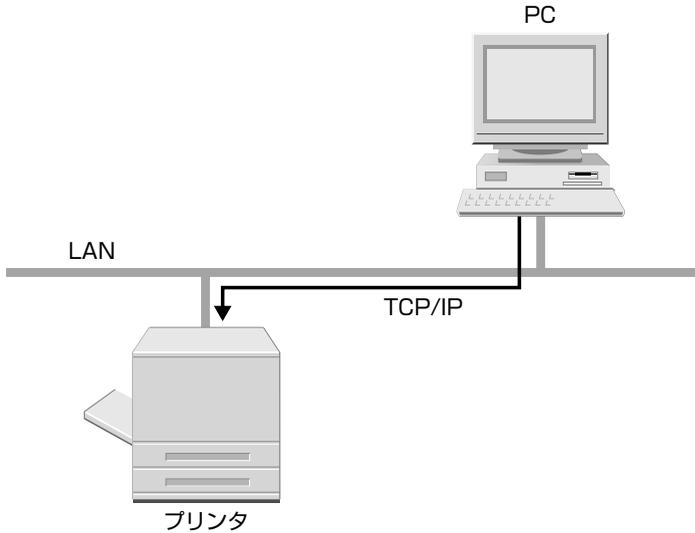


LPD は TCP/IP プロトコルのネットワーク環境で、一般的に使用されています。

- LPD 印刷のメリット  
印刷時にバナーを出すことが可能です。  
印刷実行時にプリンタを再起動してしまった場合、プリントジョブを再送信するため、印刷が保証されます（印刷時にバイトカウントを設定した場合）。
- LPD 印刷のデメリット  
プリントジョブの詳細情報を取得することができません。
- LPD 印刷を推奨するご利用例  
複数人数でプリンタを共有する場合、バナーを使用すると誰の印刷結果であるかの判断がしやすいため、LPD をおすすめします。

LPD の設定方法は、「プリンタの接続方法 (LPD/Raw)」(→ P.3-26) を参照してください。

## Raw の特徴



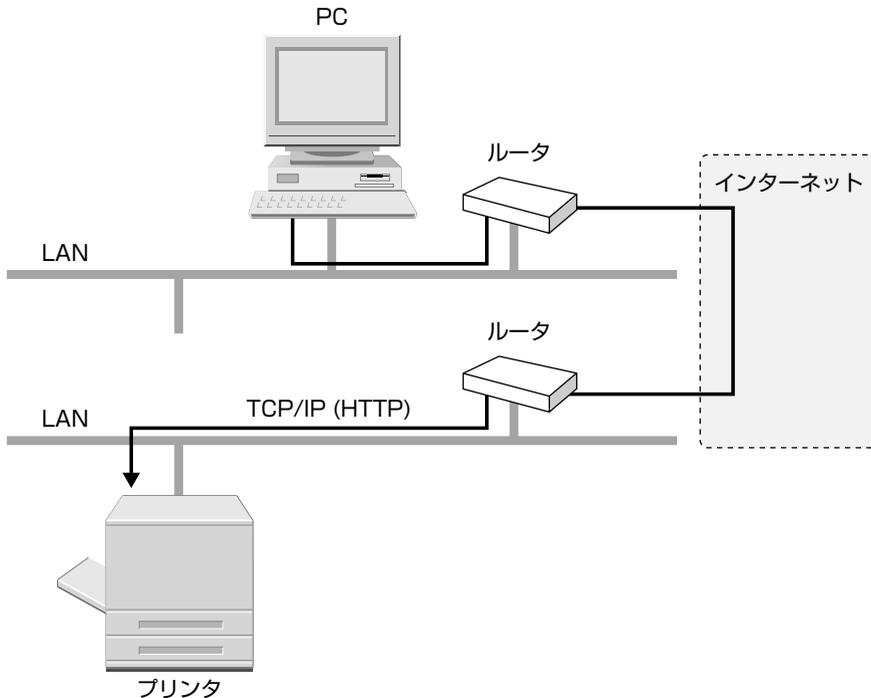
3

ネットワークで使用するには

Raw を利用すると、LPD より速く印刷できます。

- Raw 印刷のメリット  
他のプリントアプリケーションに比べ、最も早く印刷します。  
設定が最も簡単に行えます。
  - Raw 印刷のデメリット  
プリントジョブの詳細情報を取得することができません。
  - Raw 印刷を推奨するご利用例  
プリンタの設置後すぐに使用したい場合は、Raw をおすすめします。
- Raw の設定方法は、「プリンタの接続方法 (LPD/Raw)」(→ P.3-26) を参照してください。

## IPP の特徴



IPP を利用すると、LAN（社内ネットワークなど）上のプリンタだけでなく、インターネットを経由して、遠隔地にあるプリンタにも印刷できます。

- IPP 印刷のメリット  
インターネット上のプリンタに対して、印刷を行うことができます。  
また、プリントジョブやプリンタに関する情報を取得することができます。
- IPP 印刷のデメリット  
他のプリントアプリケーションに比べ、印刷に比較的時間がかかります。
- IPP 印刷を推奨するご利用例  
インターネット越しに、遠隔地のプリンタに印刷結果を出力する場合、IPP 印刷をおすすめします。

IPP の設定方法は、ネットワークガイド／本編（PDF 取扱説明書）「第 2 章 ネットワークで使用するには」を参照してください。

## プリンタの接続方法 (LPD/Raw)

 **メモ** ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

### ■新規にプリンタドライバをインストールするとき

#### 1 プリンタドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド／本編 (PDF 取扱説明書)「第 2 章 Windows から印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、プリンタドライバをインストールします。

 **メモ** 上記手順でプリンタドライバをインストールした場合、プリントアプリケーションは Raw となります。LPD をお使いになる場合は、上記手順でプリンタドライバをインストール後に、以下の「プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき」の手順に従って、ポートを変更してください。

### ■プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

#### 1 Canon LPR2 を利用してポートを変更します。 Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 に進みます。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。

Canon LPR2 を利用する場合、これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了します。

 **重要** Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、[LPR キュー名]に「lp」を入力してください。

 **メモ** Canon LPR2 をインストールしなくても、OS に標準の機能で LPD と Raw を設定できます。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 ～ 12 を参照してください。

#### 2 [プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。

Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。

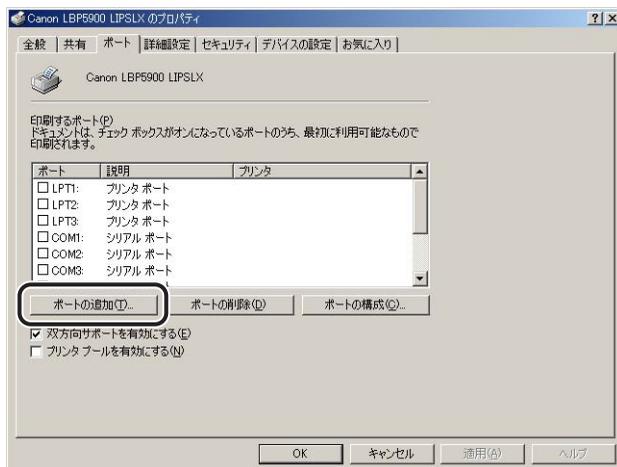
[プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダが表示されます。

- 3** インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

- 4** [ポート] タブをクリックして、[ポート] ページを表示します。

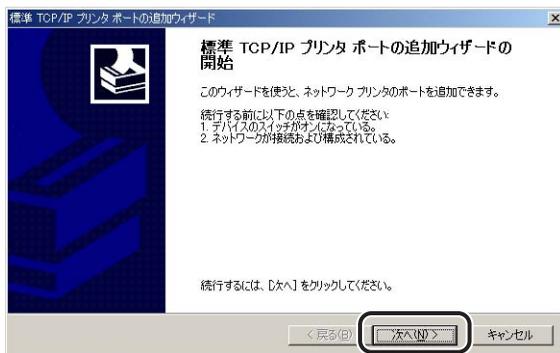
- 5** [ポートの追加] をクリックします。



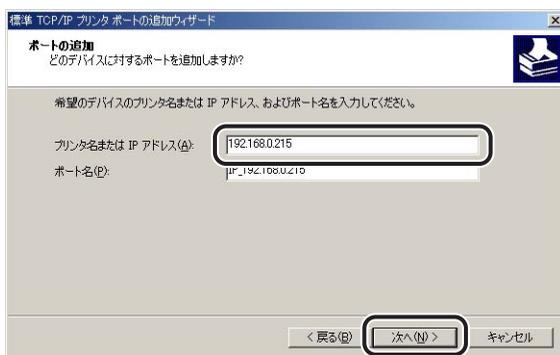
- 6** [利用可能なプリンタポートの種類] から [Standard TCP/IP Port] を選択したあと、[新しいポート] をクリックします。



## 7 [次へ] をクリックします。



## 8 [プリンタ名またはIPアドレス]にプリンタのIPアドレスまたは名前を入力したあと、[次へ] をクリックします。



## 9 入力した IP アドレスのプリンタがあることが確認されて [標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了] ウィンドウが表示されたら、[完了] をクリックします。

画面に「ポート情報がさらに必要です。」と表示されたときは、画面の指示に従って再検索を行うか、[デバイスの種類] で [標準] → [Canon Network Printing Device with P9100] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

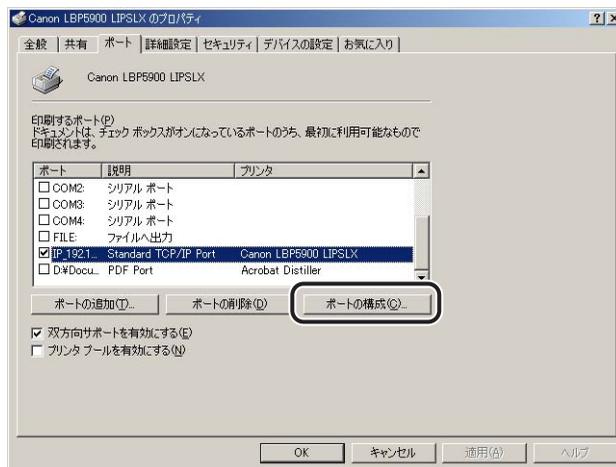
## 10 [閉じる] をクリックします。



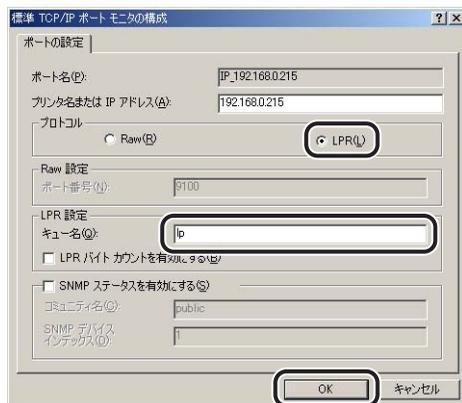
LPDを使用する場合は、手順11に進みます。  
Rawを使用する場合は、[OK] をクリックします。これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

## 11 LPDを使用する場合は、ポートの構成情報を変更します。

- プリンタプロパティダイアログボックスで、[ポートの構成] をクリックします。



- [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR 設定] の [キュー名] に [lp] と入力したあと、[OK] をクリックします。



**12** [OK] をクリックします。

---

これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

---

# 付録

# 4

## CHAPTER

この章では、インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブルの解決方法やソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

---

インテリジェントコントローラの取り外し .....	4-2
困ったときには .....	4-3
インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブル .....	4-3
テストプリント .....	4-5
インテリジェントコントローラを設定する .....	4-6
インテリジェントコントローラの初期化 .....	4-8
主な仕様 .....	4-11
ハードウェア仕様 .....	4-11
ソフトウェア仕様 .....	4-11
索引 .....	4-12
ソフトウェアのバージョンアップについて .....	4-13
情報の入手方法 .....	4-13
ソフトウェアの入手方法 .....	4-13

# インテリジェントコントローラの取り外し

インテリジェントコントローラの取り外しは、次の手順で行います。インテリジェントコントローラの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

- ▲注意**
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
  - インテリジェントコントローラの取り扱いには注意してください。インテリジェントコントローラの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

## 4

### 付録

**1** プリンタの電源をオフにします。

**2** LAN ケーブルや電源コード、アース線を外します。

**3** 拡張ボードスロット周辺のアクセサリーが取り付けられている場合は、作業しやすいように取り外したあと、プリンタの拡張ボードスロットを正面に向けます。

- 👏重要**
- 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。(→プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。(→プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書)

**4** インテリジェントコントローラの固定ネジ (2 本) を外します。

**5** インテリジェントコントローラを引き抜きます。

**6** 拡張ボードスロットの保護板を取り付けたあと、ネジで固定します。

- 👏重要**
- 取り外したインテリジェントコントローラは、必ず保管しておいた保護袋に入れてください。

## インテリジェントコントローラ取り付け時のトラブル

インテリジェントコントローラ取り付け時の動作確認で、インテリジェントコントローラのランプがすべて消灯していたり、ERR ランプがいつまでたっても消灯せず、点灯や点滅し続けているときは、次のように対処してください。

- ☒ **メモ** • インテリジェントコントローラがネットワークに正しく接続されて正常に動作しているときは、電源オンから数秒間 ERR ランプが点灯したあと、消灯します。
- ネットワーク環境で使用して印刷するときのトラブルについては、「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

### インテリジェントコントローラのランプがすべて消灯している

**原因 1** LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

**処置 1** LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。

**処置 2** 他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。

**原因 2** ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

**処置 1** ハブの“X” マークのあるポートに接続しなおします。

**処置 2** ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X” 側に切り替えます。

**原因 3** クロスタイプの LAN ケーブルを使っている

**処置 1** ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

**処置 2** クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=” 側にします。

- ☒ **メモ** クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

**原因 4** ハブと通信できない

**処置 1** ハブの電源がオンになっていることを確認します。

**処置 2** 接続したハブの通信速度に合わせてインテリジェントコントローラのディップスイッチを設定します。（→インテリジェントコントローラを設定する：P.4-6）

**処置 3** ハブを交換します。

**原因 5** インテリジェントコントローラが正しく取り付けられていない

**処置** インテリジェントコントローラを一度取り外し、取り付けなおします。

**原因 6** インテリジェントコントローラのハードウェアに異常がある

**処置** お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

---

### インテリジェントコントローラの ERR ランプが点灯し続けている

---

**原因** ネットワークケーブルの接続不良や断線、あるいはインテリジェントコントローラが正しく取り付けられていない

**処置 1** ネットワークケーブルが正しく取り付けられているか確認してください。

**処置 2** ネットワークケーブルを正常に使えるものと交換し、断線や破損がないか確認してください。

**処置 3** 上記の操作を行っても ERR ランプが点灯するときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

---

### インテリジェントコントローラの ERR ランプが 4 回ずつ点滅している

---

**原因** インテリジェントコントローラのディップスイッチ 1 がオンになっている

**処置** 一度ディップスイッチ 1 をオフにしてください。

---

### インテリジェントコントローラの ERR ランプが点滅し続けている

---

**原因 1** ファイルシステムにエラーが発生している。

**処置** ファイルシステムをフォーマットしてください。(→リモート UI ガイド (PDF 取扱説明書))

**原因 2** インテリジェントコントローラのハードウェアに異常がある

**処置** お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

## テストプリント

次の操作を行うことで、拡張 I/F プリントが印刷されます。拡張 I/F プリントには本製品のバージョンや TCP/IP の設定などが印字されます。

 **メモ** プリンタの電源を入れてからインテリジェントコントローラが完全に起動するまでには、およそ 1 分かかります。インテリジェントコントローラが完全に起動する前に拡張 I/F プリントを実行しても、拡張 I/F プリントが印刷されない場合がありますので、プリンタの電源を入れたあと 1 分以上待ってから拡張 I/F プリントを実行してください。拡張 I/F プリントが印刷されない場合は、プリンタの操作パネルの [オンライン] もしくは [リセット] を押して拡張 I/F プリントをキャンセルしてから、再度拡張 I/F プリントをやりなおしてください。

### 1 ユーティリティメニューを表示します。

ユーティリティメニューの表示方法については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書) を参照してください。

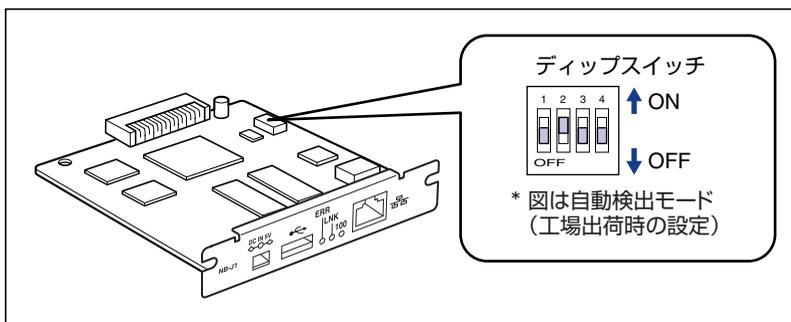
### 2 [◀]、[▶] を押して「カクチョウ I/F プリント」を選択したあと、[▼] を押します。

拡張 I/F プリントが印刷されます。

## インテリジェントコントローラを設定する

インテリジェントコントローラは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、インテリジェントコントローラのディップスイッチを設定してください。ディップスイッチの設定は、プリンタの電源をオフにしてインテリジェントコントローラを取り外してから行います。インテリジェントコントローラを取り外しの作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

**重要** ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気をつけてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。



### ■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

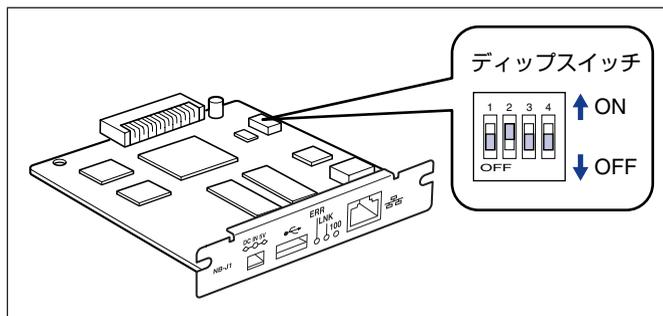
LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード (工場出荷時の設定)	 ↑ ON ↓ OFF
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	 ↑ ON ↓ OFF
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	 ↑ ON ↓ OFF
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	 ↑ ON ↓ OFF
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	 ↑ ON ↓ OFF

- 1 プリンタの電源をオフにします。
- 2 LAN ケーブルや電源コード、アース線を取り外します。
- 3 2本のネジを外して、インテリジェントコントローラを取り外します。

- 重要**
- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。(→プリンタに付属の取扱説明書)
  - オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。(→プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書)

## 4 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.4-6 の表を参照してください。



## 5 インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

- 重要**
- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

## 6 インテリジェントコントローラの両端を、付属の2本のネジで固定します。

## 7 LAN ケーブルや電源コード、アース線を接続します。

# インテリジェントコントローラの初期化

インテリジェントコントローラを初期化したいときは、次の手順でインテリジェントコントローラのディップスイッチを切り換えます。ディップスイッチを操作して、インテリジェントコントローラを初期化した場合、ネットワークの設定値が工場出荷時の値に戻され、プリンタのファイルシステムがフォーマットされます。次の作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

**重要** ディップスイッチを操作して、インテリジェントコントローラを初期化した場合、プリンタのファイルシステムがフォーマットされ、プリンタにインストールされているアプリケーションやライセンスファイル、アプリケーションから作られたファイルシステム内に保存されているデータが削除されます。また、SMSのログインパスワードも工場出荷時のパスワードに戻ります。ネットワークの設定値のみを工場出荷時の値に戻したいときは、プリンタの操作パネル、Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアントのいずれかの方法で行ってください。

- ・プリンタの操作パネル： 「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- ・Web ブラウザ（リモート UI）： 「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- ・FTP クライアント： 「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

**1** プリンタの電源をオフにします。

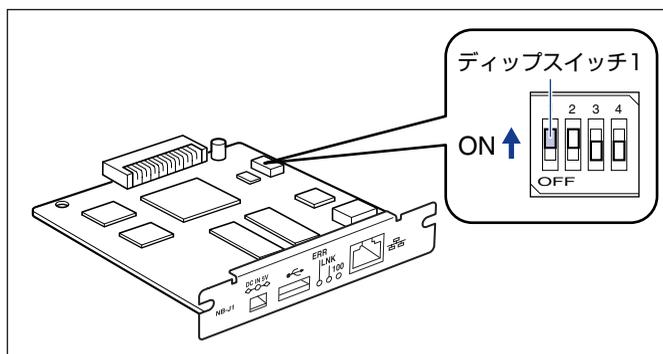
**2** LAN ケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

**3** 2本のネジを外して、インテリジェントコントローラを取り外します。

- 重要**
- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。（→プリンタに付属の取扱説明書）
  - オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。（→プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書）

## 4 ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



### 重要

ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

## 5 インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

### 重要

- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

**6** インテリジェントコントローラの両端を、付属の2本のネジで固定します。

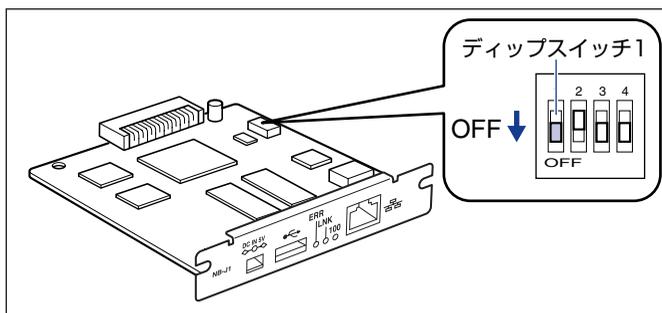
**7** 電源コード、アース線を接続します。

**8** プリンタの電源をオンにして1~2分待ったあと、プリンタの電源をオフにします。

**9** 電源コード、アース線を取り外します。

**10** インテリジェントコントローラを取り外し、ディップスイッチ1をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



**重要** ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

**11** インテリジェントコントローラを取り付けます。

**12** LAN ケーブルや電源コード、アース線を接続します。

# 主な仕様

## ハードウェア仕様

CPU	RISC 100MHz
ROM	32 MB (フラッシュ ROM)
RAM	64 MB (インテリジェントコントローラ NB-J1)
ネットワークインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX 共用 (RJ45) 全二重・半二重
プリンタインタフェース	拡張インタフェース
USB ホストインタフェース	USB 1.1 * USB ハブ・切替器等を接続して、USB 機器を使用することはできません。
DC 電源	DC5V IN 500mA
ランプ	3 個 (ERR、LNK、100) (インテリジェントコントローラ NB-J1)

- 重要** 本製品に USB 機器を接続する場合、本製品の USB ホストインタフェースから USB 機器へ最大 150mA の電流を供給することが可能です。USB 機器を接続する前に、USB 機器に付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続する USB 機器がバスパワードデバイス (USB 機器の動作に必要な電力を USB ホストインタフェースから供給されることにより動作する USB 機器) の場合には、USB 機器の消費電流をご確認ください。接続する USB 機器の消費電流が 150mA 以下の場合、外部電源は必要ありません。150mA 以上の場合には、必ず次のいずれかの方法で電力を確保してください。
- ・ オプションの AC アダプタをインテリジェントコントローラに接続する。オプションの AC アダプタを使用した場合、本製品の USB ホストインタフェースから最大 500mA の電流を供給することができますようになります。
  - ・ USB 機器の動作に必要な電力を AC コンセントなどから USB 機器側で確保する。

## ソフトウェア仕様

対応プロトコル	TCP/IP
TCP/IP	フレームタイプ : Ethernet II プリントアプリケーション : LPD、FTP、RAW、IPP、BMLinkS

# 索引

## 4

### 付録

## 英数字

- 100BASE-TX, 2-3
- 100 ランプ, 2-5
- 10BASE-T, 2-3
- DC ジャック, 2-5
- ERR ランプ, 2-5
- IPP の特徴, 3-25
- LAN コネクタ, 2-5
- LNK ランプ, 2-5
- LPD の特徴, 3-23
- Raw の特徴, 3-24
- USB ホストコネクタ, 2-5

## あ

- 印刷を行うコンピュータの設定, 3-21
  - プリンタの接続方法 (LPD/Raw), 3-26
  - プリントアプリケーションの選択, 3-21
- インテリジェントコントローラ
  - 各部の名称と機能, 2-5
  - 初期化, 4-8
  - 設定, 4-6
  - 取り付け, 2-6
  - 取り外し, 4-2
  - パッケージの内容を確認, 2-2
- 主な仕様, 4-11
  - ソフトウェア仕様, 4-11
  - ハードウェア仕様, 4-11

## か

- 各部の名称と機能, 2-5
- ケーブルを用意する, 2-3

## さ

- ソフトウェア仕様, 4-11

## た

- 通信速度, 4-6
- ディップスイッチの設定, 4-6
- テストプリント, 4-5
- 転送モード, 4-6
- トラブル, 4-3

## な

- ネットワークで使用するために必要な作業, 1-3

## は

- ハードウェア仕様, 4-11
- 必要なシステム環境, 1-2
- プリンタ接続コネクタ, 2-5
- プリンタの接続方法 (LPD/Raw), 3-26
- プリンタのプロトコル設定, 3-6
- プリンタのプロトコル設定の準備, 3-2
- プリントアプリケーションの選択, 3-21

# ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

## 情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はおお客様のご負担になります。

### ■ キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧ください。

## ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はおお客様のご負担になります。

### ■ キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

### ■ CD-ROM の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。



## 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

## 修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

# Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

# 050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00  
(1/1～3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。  
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。  
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：<http://canon.jp>